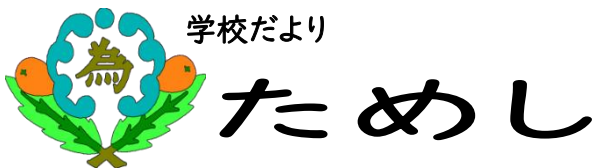




為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~ 地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども ~」



- 楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
- 正しく めあてを しっかり守る
- たくましく めあてに向かって しっかり鍛える



←HPを登録
してください。

令和6年5月10日号
文責 上久木田雄二



子ども読書の日

私の家もそうですが、活字に触れることが少なくなってきたと感じます。手元で容易くスマートフォンを操作すれば、簡単な情報ならすぐに手に入ります。ページをめくる手間もありませんし、目次や索引を見る必要もありません。

今の子どもたちは、文章から情報を得るより、動画からノウハウを学ぶ経験の方が多いのかもしれません。

私の妻も最近になって、動画レシピを見るようになり、その情報をもとに料理をし始めました。さすがに動画を見ながらの作業はしませんが、巻き戻しを繰り返しメモしているようです。

ところで、4月23日は毎年、子ども読書の日と定められています。学校の立場とすれば、4月のこの時期に関係イベントを開催するのは大変困難ではあります。

テトルで配信しているように、著名人からおすすめの本が紹介されました。



すでに読んだことがある本はありましたでしょうか。

文部科学省が毎年行う調査の結果によると、読書と子どもの学力には相関関係があるそうです。家庭の蔵書数は、200冊

が目安だとも言われています。

子ども読書の日に合わせて、図書ボランティア「あきすての」の皆さんに、読み語りをしていただきました。

毎回、季節や時事にあわせて選書していただき、子どもたちにとって有意義な時間になっています。

読み語りの様子は、教務が作成したホームページをご覧ください。

本校の図書ボランティアの皆さんの素敵なおところは、「ブックトーク」をしていることだと私は思っています。

子どもたちに読み語りをした後に、それぞれが選書した絵本のストーリーやおすすめポイントを互いに紹介しています。校長室での取組になりますので、私も聞いていてとても楽しいですし、参考になります。



読み語りをするボランティアにとどまらず、互いの資質・能力を高め合う活動につながっています。これこそ、生涯学習の根本だと私は感じています。やはり、本って素敵ですね。

